

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-535417(P2004-535417A)
 【公表日】平成16年11月25日(2004.11.25)
 【年通号数】公開・登録公報2004-046
 【出願番号】特願2003-501278(P2003-501278)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7076 (2006.01)
A 6 1 K 9/14 (2006.01)
A 6 1 K 9/16 (2006.01)
A 6 1 K 9/32 (2006.01)
A 6 1 K 47/32 (2006.01)
A 6 1 P 21/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7076
 A 6 1 K 9/14
 A 6 1 K 9/16
 A 6 1 K 9/32
 A 6 1 K 47/32
 A 6 1 P 21/06

【手続補正書】
 【提出日】平成17年5月27日(2005.5.27)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

哺乳類において細胞内および細胞外のアデノシン三リン酸(ATP)濃度に作用する組成物であって、顆粒、微小顆粒および粉末からなる群から選択される形状を有する有効量のATPを含んでなり、前記形状のATPには最終的な剤形とする前に胃酸分泌阻害コーティングが施されていることを特徴とする組成物。

【請求項2】

前記組成物は経口による送達に適した形状である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記胃酸分泌阻害コーティングはメタクリル酸コポリマーを含有する、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

前記阻害コーティングは1～20重量パーセントの範囲で含まれる、請求項1～3のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項5】

前記阻害コーティングは10重量パーセント含まれる、請求項1～4のいずれか1項に記載の組成物。

【請求項6】

哺乳類において細胞内および細胞外のアデノシン三リン酸(ATP)濃度に作用する組成物であって、顆粒、微小顆粒および粉末からなる群から選択される形状を有する治療上

有効量の ATP を含んでなり、前記形状の ATP には、最終的な剤形とする前に前記量の ATP に 1 ~ 20 重量パーセントの範囲の胃酸分泌阻害コーティングが施されていることを特徴とする組成物。

【請求項 7】

前記胃酸分泌阻害コーティングはメタクリル酸コポリマーを含む、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物は経口による送達に適した形状である、請求項 6 または 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記阻害コーティングは 10 重量パーセント含まれる、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

哺乳類を治療するための組成物を製造する方法であって、

顆粒、微小顆粒および粉末からなる群から選択される形状を含む有効量の ATP を提供することと、

最終的な剤形とする前に前記形状の ATP に胃酸分泌阻害コーティングを施すこととからなる方法。

【請求項 11】

前記阻害コーティングは 1 ~ 20 重量パーセントの範囲で含まれる、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記胃酸分泌阻害コーティングはメタクリル酸コポリマーを含有する、請求項 10 または 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記阻害コーティングは 10 重量パーセント含まれる、請求項 10 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

前記組成物は経口による送達に適した形状である、請求項 10 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の方法。